



# 住民主体の再エネ事業は 地域に何をもちたらずか？

2017年2月11日

一般社団法人 南紀自然エネルギー  
代表理事 仁木 佳男

		<p><b>【再エネ事業】</b></p> <p>⇒ エネルギー（自立、シフト） ⇒ 産業（緑経済、新産業）</p>	<p><b>【再エネ以外の事業】</b></p>
<p><b>地域主体の事業</b></p>	<p><b>【住民団体の事業】</b></p> <p>⇒ 自己効力感 ⇒ 地域の一体感</p>	<p>＜住民団体による再エネ事業＞</p> <p>⇒ エネルギーを自分達の手に取り戻す ⇒ 地域内経済循環に貢献 （住民出資、自力建設） ⇒ 利益を課題解決に活用 （地域貢献型発電事業） ⇒ エネルギーを契機に地域を考える</p>	<p>＜直売所＞ ＜伝統行事＞</p> <p>⇒ 生き甲斐 ⇒ 絆</p>
	<p><b>【個人・地元企業の事業】</b></p>	<p>＜住民・地元企業の再エネ事業＞</p> <p>⇒ 地域の稼ぐ『筋力』を高める</p>	<p>＜なりわい＞</p>
<p><b>【域外主体の事業】</b></p>		<p>＜外部資本による発電事業＞</p> <p>⇒ 税金、域内消費、雇用？ ⇒ 反感（反再エネ感情）</p>	



どんな  
お話し  
？



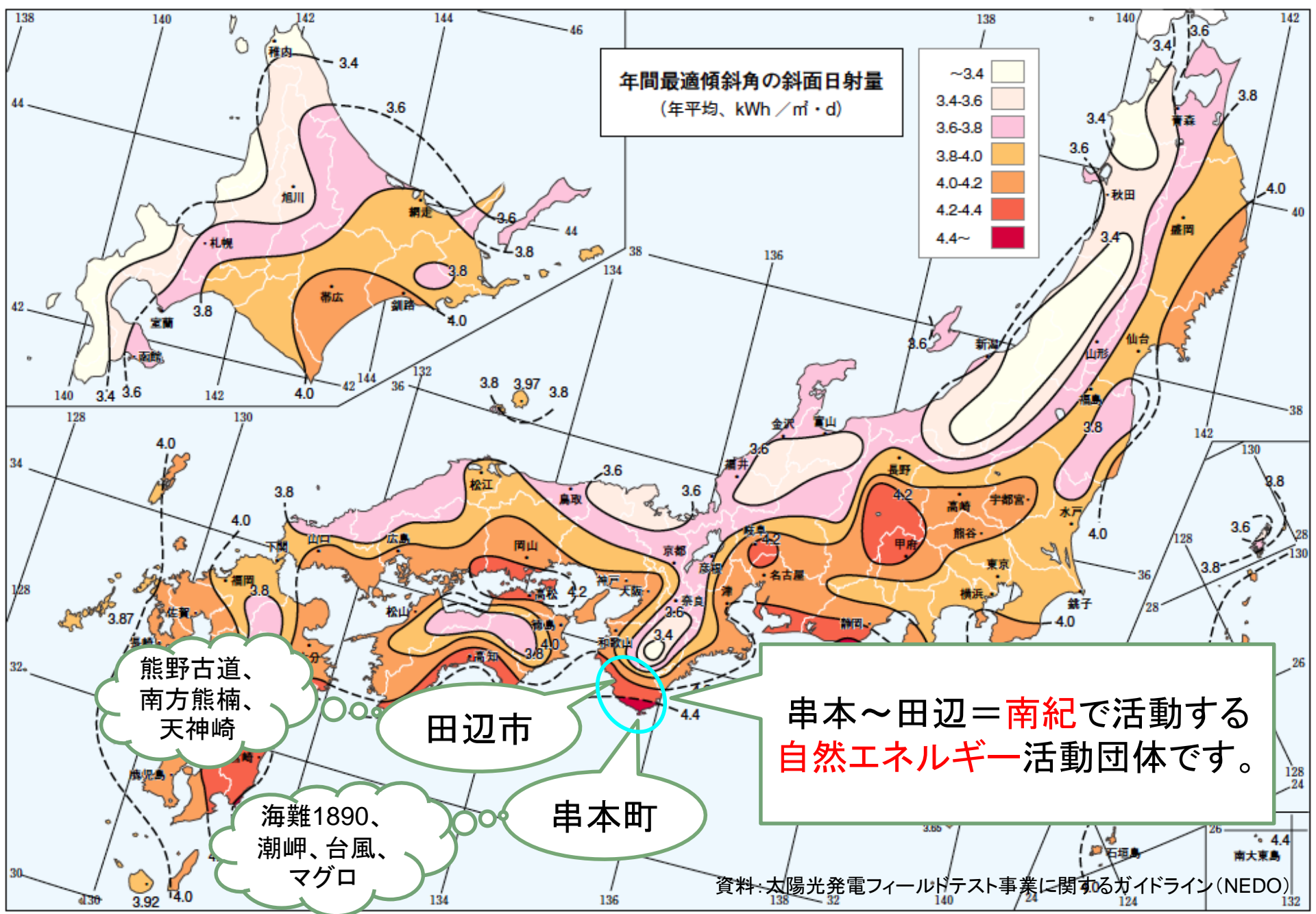
はじめに

域外主体の再エネは何をもたらす？

- ①地域内経済循環に貢献する
- ②利益を課題解決に活用する
- ③エネルギーを契機に地域を考える
- ④エネルギーを取り戻す



はじめに





- 2012年冬から活動を開始し、2014年1月法人設立。
- 運営メンバーは5名で、休日を利用して活動。

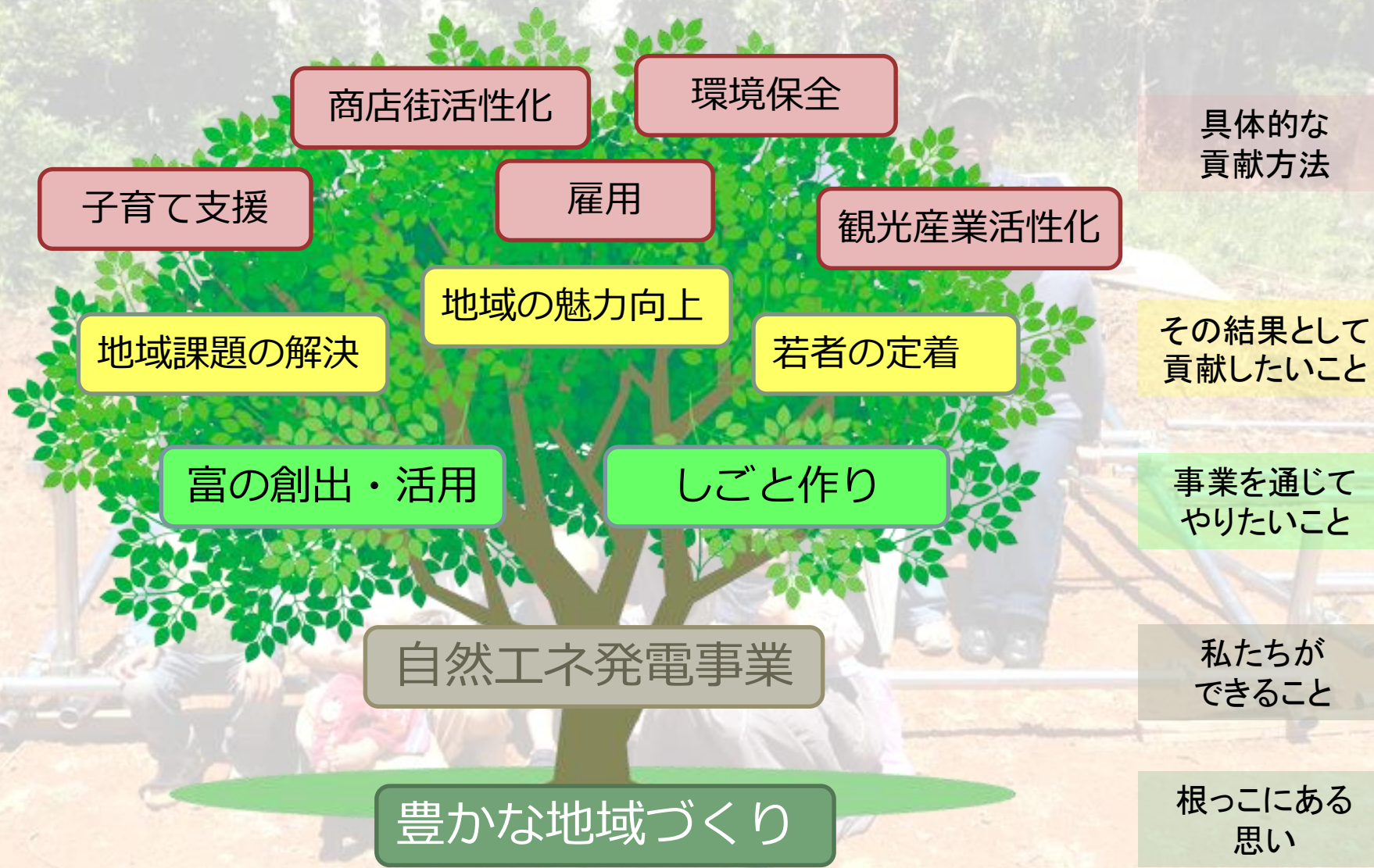
私たちは自然エネルギーで地域を元気にするために、  
こんなことに取り組んでいます。



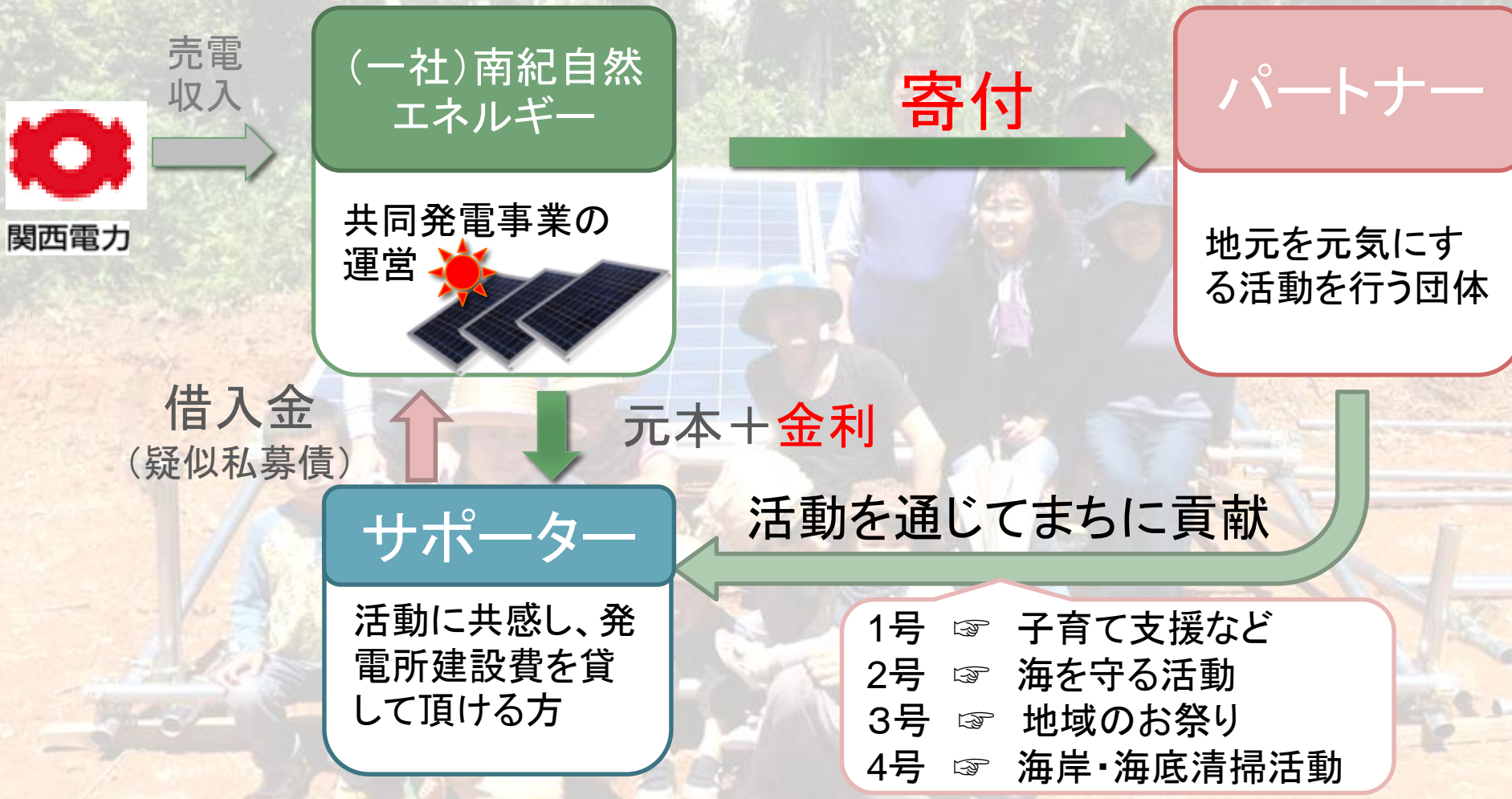
- みんなで少しずつお金を出し合って作る市民共同発電に取り組む
- 発電事業の利益を地域を良くする活動に寄付する
- 資金は事業に理解のある方からお借りして少しでも増やして返す
- 小さな太陽光発電所を自分達の手で作る



# 取組みの目的



# 地元貢献型市民共同発電の仕組み

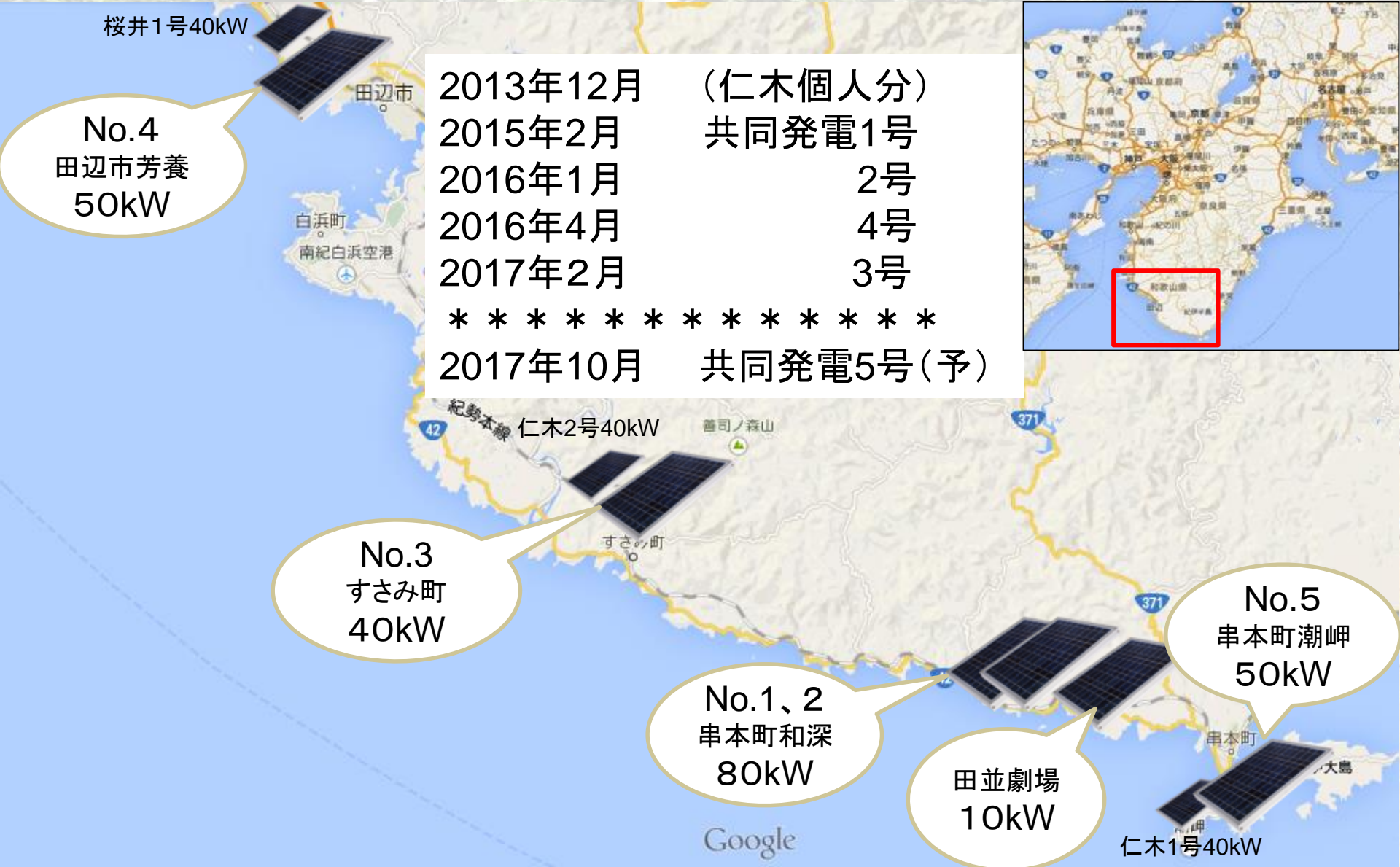


誰にも負担が無く、太陽の恵みで20年間にわたって地元にご貢献できます。



## 運転中および計画中の市民共同太陽光発電所

4ヶ所170kWの市民共同発電所が稼働中。秋には220kWに。



桜井1号40kW

No.4  
田辺市芳養  
50kW

2013年12月 (仁木個人分)  
2015年2月 共同発電1号  
2016年1月 2号  
2016年4月 4号  
2017年2月 3号  
\*\*\*\*\*  
2017年10月 共同発電5号(予)


No.3  
すさみ町  
40kW

No.1、2  
串本町和深  
80kW

田並劇場  
10kW

No.5  
串本町潮岬  
50kW

仁木1号40kW

A full-body photograph of a man with a white beard and balding head, wearing a dark blue suit jacket, a yellow shirt, and a patterned tie. He is holding a large, dark gray rectangular sign in front of his chest with both hands. The sign contains Japanese text. The background is plain white.

域外主体の再エネ事業  
は何をもたらすか？



再エネは迷惑施設と見られる時代に。 何故か？



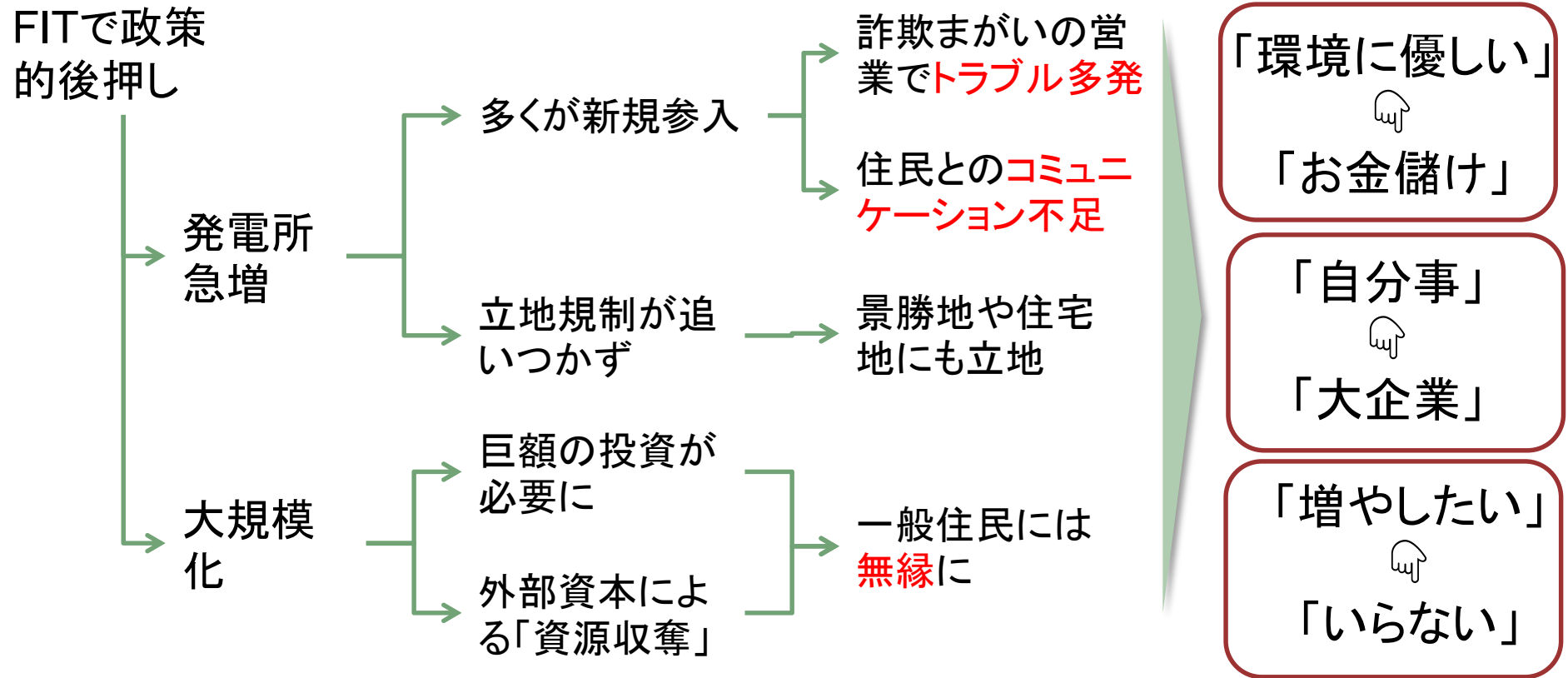
## 和歌山県・串本町の現状

- Google map上で串本町内16カ所に太陽光発電所が確認できる。
- その内、3カ所はメガソーラーで全て外部資本によるもの。
- 合計出力が10MWとすると、町内1/3の世帯に供給できる量。



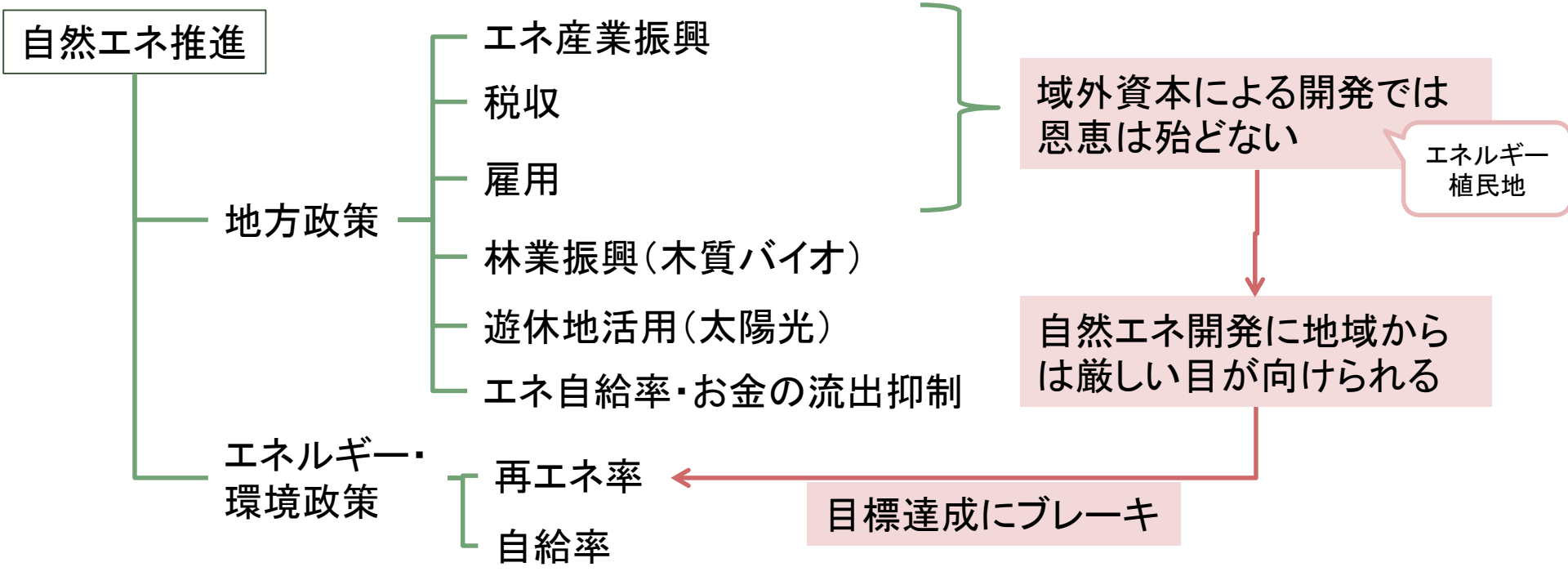


## 地域住民の受け止め方が悪化した背景



地域主体の再エネであれば、多くは防げる

## 住民主体で自然エネルギーを作る意義



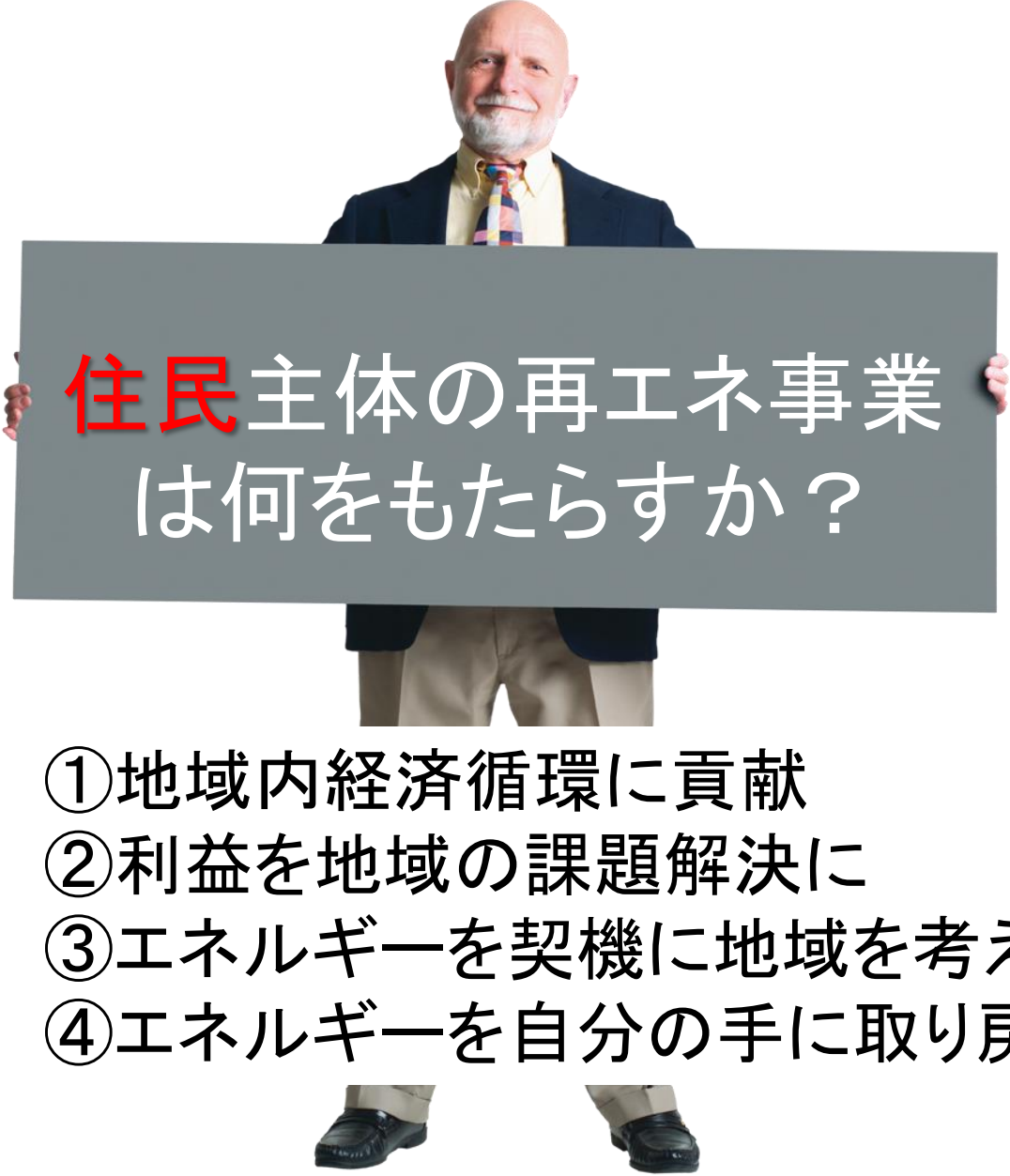
- 自然エネ推進は未利用資源の活用による地域活性化策。
- 域外資本による開発の場合、地域へのメリットは少ない。
- 反感から自然エネの導入目標達成へのブレーキにも。



## コミュニティパワーの三原則

- ①地域の利害関係者がプロジェクトの大半もしくは全てを所有している（オーナーシップ）
- ②プロジェクトの意思決定はコミュニティに基礎を置く組織によって行われる（意思決定）
- ③社会的・経済的便益の多数もしくはすべては地域に分配される（便益）

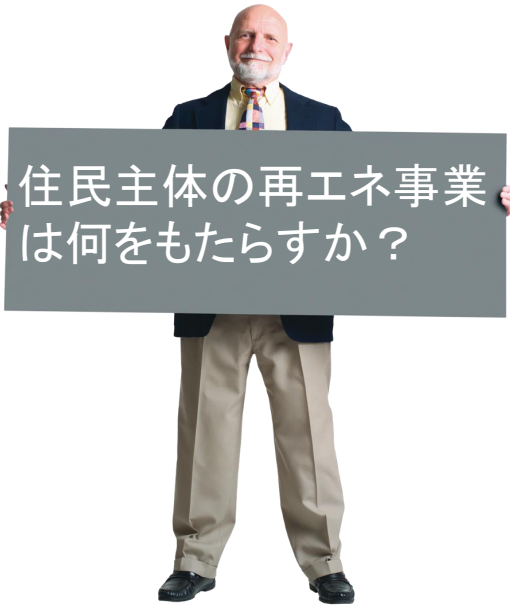
再エネが地域に受け入れられる要件だが、域外主体の再エネ事業は、当然ながら適合し得ない。

A man with a white beard, wearing a dark blue suit jacket, a yellow shirt, and a patterned tie, is holding a large grey rectangular sign. The sign contains the text '住民主体の再エネ事業は何をもたらすか？'.

**住民**主体の再エネ事業  
は何をもたらすか？

- ①地域内経済循環に貢献
- ②利益を地域の課題解決に
- ③エネルギーを契機に地域を考える
- ④エネルギーを自分の手に取り戻す



A man with a white beard, wearing a dark suit jacket, a light-colored shirt, and a patterned tie, stands holding a large grey rectangular sign. The sign contains the text '住民主体の再エネ事業は何をもたらすか？'.

住民主体の再エネ事業  
は何をもたらすか？

# ①地域内経済循環に貢献

- 人口2万人規模の地方都市で、家庭の電気代は合計12億円、殆どは関西電力の売上げ。
- 地域に再エネ発電所があれば、その分の電気代は地域内にとどまる。
- 地代、税、メンテ費は継続的に、工事、資材費も地元。
- 住民主体の事業なら、利益は住民とコミュニティに分配できる。
- その規模感、事業主体別の効果を見比べる。

## 地元資本の自然エネルギーで地産地消できれば？

- 家庭で使う電気代は、13万円/年・世帯※ ※:2014年度家計調査、和歌山市
- 串本町の場合、9千世帯から毎年12億円のお金が関電に。
  - 町内総生産500億円の2%以上

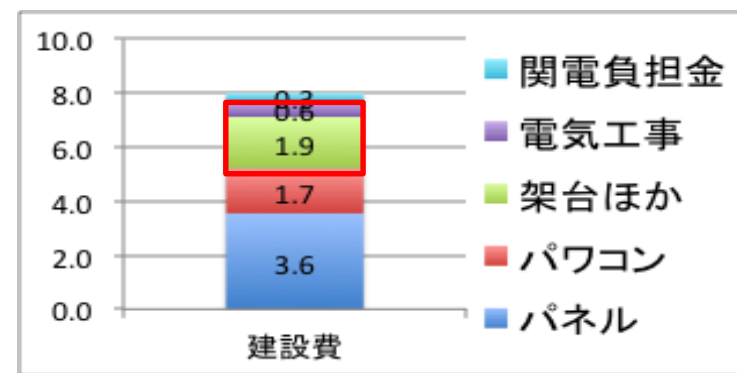
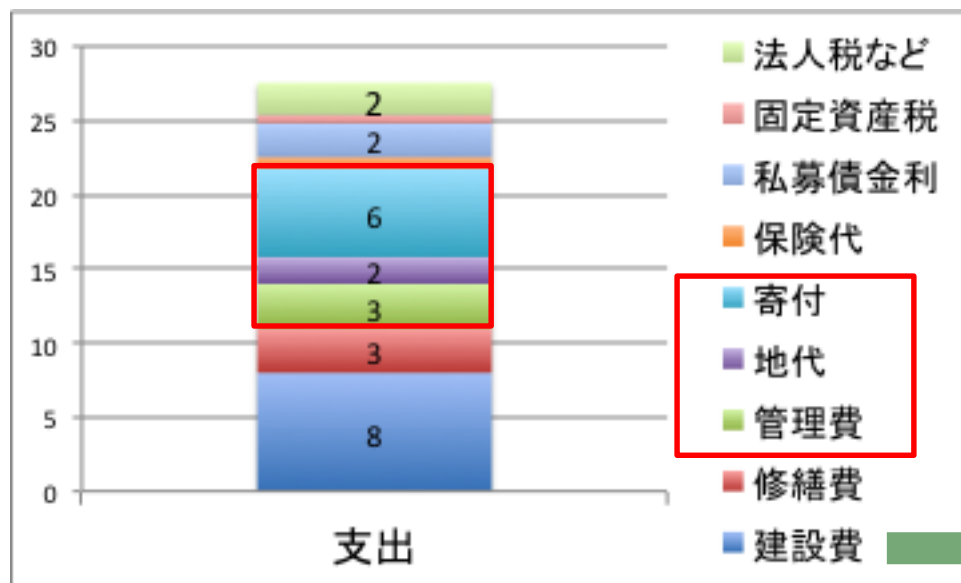
		資本	
		外部	内部
発電所	外部	全て流出 (従来)	<外貨獲得>
	内部	一部が留まる (現在)	域内で全て循環 (将来)

自然エネで地産地消  域内総生産が2%以上アップ

## 南エネの太陽光発電の地域経済への貢献

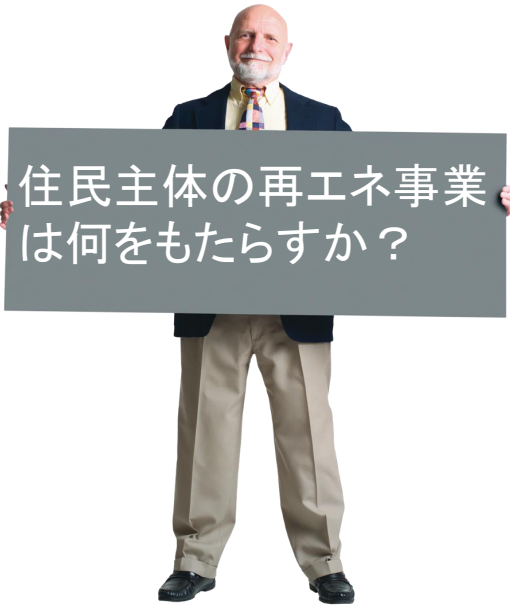
< 1号発電所(30kW)の場合 >

- 20年間の予想売上げの累計は28百万円で、ほぼ同額を支出
- 管理費3、地代2、寄付6百万円は全て、私募債金利2、建設費8百万円の一部が地域に落ちる



- 事業期間20年で、50万円/kW程度が地域へ。
- 南エネは220kWまで建設 → 累計で1億円程度のインパクト



A man with a white beard, wearing a dark suit jacket, a light-colored shirt, and a patterned tie, stands holding a large grey rectangular sign. The sign contains the text '住民主体の再エネ事業は何をもたらすか？'.

住民主体の再エネ事業  
は何をもたらすか？

## ②利益を地域課題の解決に

- 住民団体主体の事業は、コミュニティへの貢献がミッション。
- 発電事業の利益は、自分達で選択した未来のために。
- ここでは、南紀自然エネルギーの場合にはこんなことに使っています、というご紹介を。

## 事業主体と利益配分

企業  
が行う事業

利益は株主・オーナー、従業員に配分される。

住民団体  
が行う事業

利益は地域コミュニティのために使われる。

- 課題山積の地方では、その解決に使える人・カネは年々縮小。
- 行政では手が届かない領域は住民団体、NPOが担う新しい公共へ。

住民団体の再エネ事業は、新しい公共と相性が良い。

例えば、こんなことが

教育系

奨学金、学習支援、図書館

コミュニティ系

商店街、コミュニティスペース、伝統行事、自治会費、空き家対策

くらし系

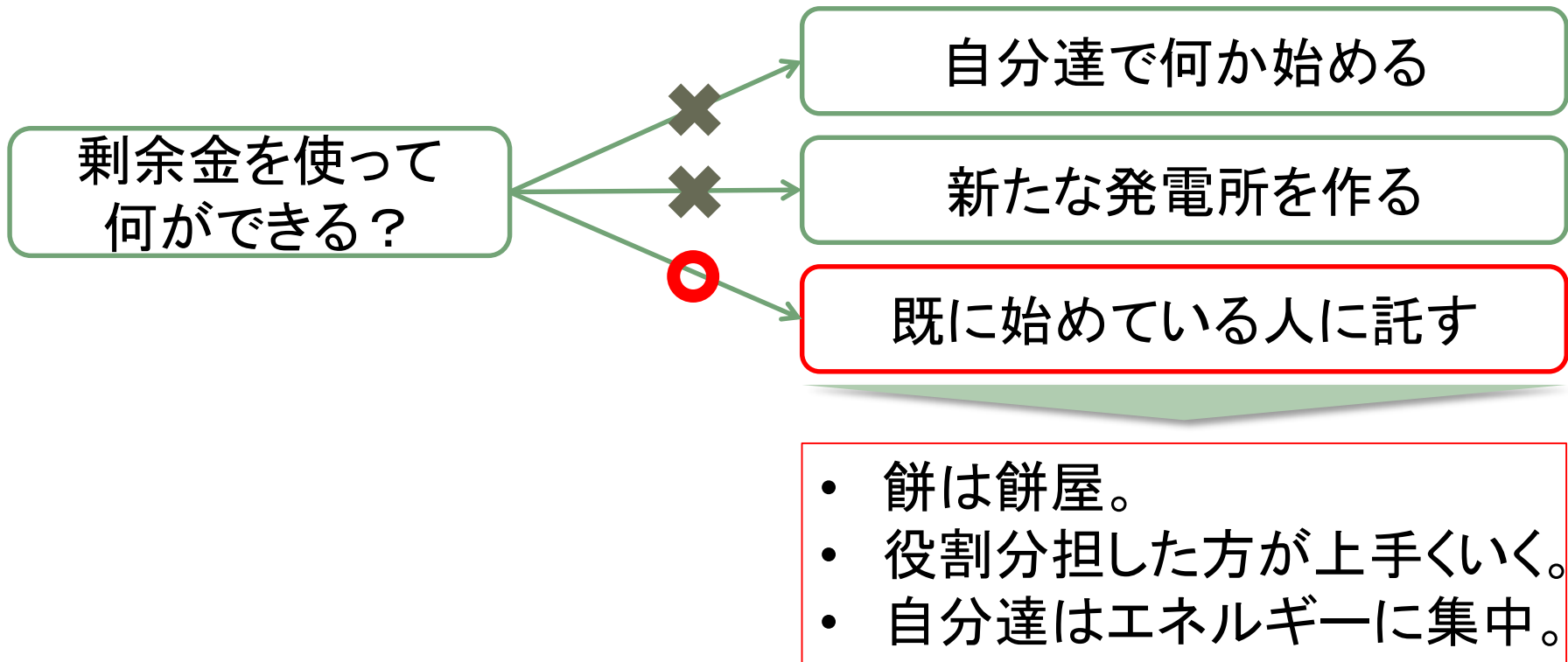
高齢者の買い物・通院支援、子育て支援



「何を選ぶか」=地域の意志がどこに向いているか



## 南エネによる利益の地域還元



- 南エネでは、発電事業の剰余金を地域活動に寄付。
- 出力1kWあたり、年間1万円が目標で、20年継続。

## 南エネによる利益の地域還元

1号 子育て支援他(30万円)



あったカフェ

2号 海を守る活動(50万円)



シュノーケル体験

3号 地域の秋祭り(40万円)

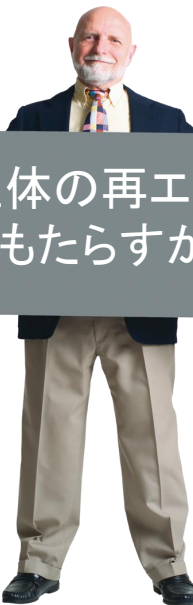


下地の獅子舞

4号 天神崎の自然保護(50万円)



海底清掃

A man with a white beard, wearing a dark suit jacket, a light-colored shirt, and a patterned tie, stands holding a large grey rectangular sign. The sign contains the text '住民主体の再エネ事業は何をもたらすか？'.

住民主体の再エネ事業  
は何をもたらすか？

## ③エネルギーを契機に地域を 考える

- 「地域の課題解決」を掲げており、「どうありたいか」を考え、話し合う機会に。
- 資金集めや、建設、維持管理、利益を使った活動など全ての段階で住民同士の協力が必要。このようなプロセスも、地域力を高めることに。
- ここでは、南エネの事例を簡単にご紹介。



## 地域の未来について話し合う

- 「利益を何に使うか？」は、「地域の将来をどうして行きたいか」に結びつき、地域づくりの議論を加速。
- 「アイデアだけ出して、後は役場が」ではなく、原資があるのでリアルな計画まで落とし込まなければいけない。





## 地域の未来について話し合う

- ただし、マジメな話し合いだけではダメ。
- 楽しみながら、「あんなことしたい」、「今度はコレを」という繰り返しを大切に。



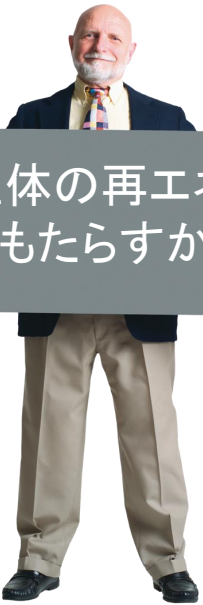


## 地域の未来について話し合う

- 「みんなの発電所」だから、草刈りもみんなで。
- 協力し合える関係を構築。もちろん、日当支給。





A man with a white beard, wearing a dark suit jacket, a light-colored shirt, and a patterned tie, stands holding a large grey rectangular sign. The sign contains the text '住民主体の再エネ事業は何をもたらすか？'.

住民主体の再エネ事業  
は何をもたらすか？

## ④エネルギーを自分達の手に取り戻す

- 身の回りの多くのモノが専門分化の方向に進み、便利さと引き換えに私たちは多くの面で生産手段を手放し、消費者の立場になってしまっています。
- 高効率で中央集権的なシステムから、衣食住エネルギーを少しだけ取り戻すことで、自由と自己決定感が高まります。
- あと、単純に自分のモノを自分で作れることは楽しいです。





















すさみ水電 取水堰遺構





- ✓ 住民/住民団体主体の事業が増える事が、再エネの導入増加の必要条件。
- ✓ 住民団体主体による再エネ事業は、新しい公共の推進剤になり得る。





ご清聴ありがとうございました